スポーツ庁再委託事業

令和３年度 Sport in Life 推進プロジェクト

（ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業）

ミッション「１年間スポーツをしなかった人を探せ!」

クラブinクラブづくり 事業

事業報告書

令和４年２月１８日

特定非営利活動法人

スポーツ・サンクチュアリ・川口

令和３年度 Sport in Life 推進プロジェクト
（ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業）
「ミッション「１年間スポーツをしなかった人を探せ!」
クラブinクラブづくり 事業」
事業報告書

目次

１．本事業の目的 3
２．本事業の実施概要 3
（１）本事業のターゲット 3
（２）ターゲットのスポーツ実施の阻害要因、促進要因（事業実施前の仮説） 4
（３）本事業で期待される効果 5
３．本事業の実施内容 5
（１）事業の実施概要 ..... 5～12
（２）事業の実施結果 ..... 13～15
４．本事業の実施体制 16
（１）本事業の実施体制 ..... 16～18
（２）本事業の実施スキーム 19
５．事業の実施効果（スポーツ実施頻度、実施意欲の改善効果） 20
（１）効果検証方法 20
（２）効果検証の結果 20
６．スポーツ実施改善の要因の分析（阻害要因や促進要因の仮説検証） 21
７．本事業から得られた波及効果 22
８．今後の事業展開予定 22
（１）事業継続や横展開に向けたポイント、課題 22
（２）次年度以降の事業継続、横展開の計画 23
（３）今後の事業展開に向けて期待される Sport in Life プロジェクトにおける取組 ..... 23～24
９．終わりに
参考資料　アンケート調査票・分析結果詳細 ..... 25～48

１．本事業の目的

社会一般では「スポーツで仲間をつくろう。」と呼びかけられるが、その言葉がむしろ障壁になってしまう感覚を心の奥で感じているような「スポーツから遠ざかっている人」が参加してみたいと思えるような企画イベントを企画する。

この企画イベントなどの情報を不定期に発信するクラブを立ち上げ、総合型地域スポーツクラブを中心とした構成団体間のつながりを生かして、クラブの会員や運営者など、日ごろからスポーツを行っている人が、スポーツから遠ざかっている人を探しだし声がけすることで、企画イベントに参加いただく。このしくみを育てていくことで、スポーツ実施者の増加方策を探る。

２．本事業の実施概要

（1） 本事業のターゲット

0 才から 100 才までの「この 1 年間スポーツをしなかった人」すなわち「スポーツから遠ざかっている人」である７つのタイプを想定し①･②･③３つのターゲットにまとめた。

ターゲット①

・食わず嫌いタイプ

身体活動の心地よさを知らずにいるため、体力や技術がないのでという理由で、スポーツから遠ざかっている人

・未経験タイプ

歩き方や動作をきれいにしたいと思っているが、これまでほとんどスポーツ経験がないような女性

ターゲット②

・見守りタイプ

家族間に地域クラブの会員がいるため定期的にスポーツを実施している家族がいるが、自身は送迎だけ、見守るだけの立場をとる人

・無関心タイプ

家族間でスポーツ活動への関心に温度差のある家庭の中でのスポーツしない派。例えば、兄弟や夫婦でも関心レベルは全く違っているため、そのどちらかがターゲットとなる。

ターゲット③

・憧れ止まりタイプ

地域クラブ関係者が、地域の事業などを行う際に出会う、スポーツが出来るライフスタイルにあこがれながらも踏み込めない人

・苦手意識タイプ

周りと比べてしまうことで、スポーツ活動や学校の体育が苦手と感じてしまっている子どもたちなど。

・おこもりタイプ

どちらかといえば、自宅に引きこもっていたい。しかし、心の奥ではもう少し社会と関わりたい人

（２） ターゲットのスポーツ実施の阻害要因、促進要因（事業実施前の仮説）

①　･②･③３つのターゲット別にその阻害要因と促進要因について以下の仮説をたてた。

ターゲット①

阻害要因　：食わず嫌い・未経験タイプであること

促進要因　：一見スポーツを目的とした内容には興味を示さないと考えられる。
身体活動の気持ちよさを感じる機会をつくることが大切で、自身の居場所には興味を持つことが想定でき、居心地の良い空間、親切なスタッフ、思いがけない楽しみ、などの心へのギフトとスポーツ身体活動のバランスが大切である。

↓

意欲向上につなげる**促進誘因 Point**：**『居心地』**

ターゲット②

阻害要因　：見守り・無関心タイプであること

促進要因　：一緒に何かをする時に、思わず声をあげて笑ってしまうような瞬間が、スポーツをするものとしないものを分け隔てなくす。
家族間でも興味や趣向が違ってよいことを認めているというアプローチにより
まず、家族間の小さな日常内でのわだかまりや各自の屈託を取り除けるような場面を用意する。身体活動やゲームでの経験を通して、思いっきり笑い、心から笑顔になれる瞬間を共有することで、楽しめることに気づいていただく。

↓

意欲向上につなげる**促進誘因 Point**：**『心から笑顔に』**

ターゲット③

阻害要因：憧れ止まり・苦手意識・おこもりタイプであること

促進要因　：自身が、日常的に興味関心のあることを理解しあえる仲間がいると気づいた時相手との距離はぐっと縮まる。その相手と共に過ごす時間は楽しい。
きっかけは、スポーツでなくてよい。興味関心を持っていることが、いつのまにか身体活動へとつながるのであれば、おのずとそのハードルは低くなる。

↓

意欲向上につなげる**促進誘因 Point**：**『共に過ごせる仲間』**

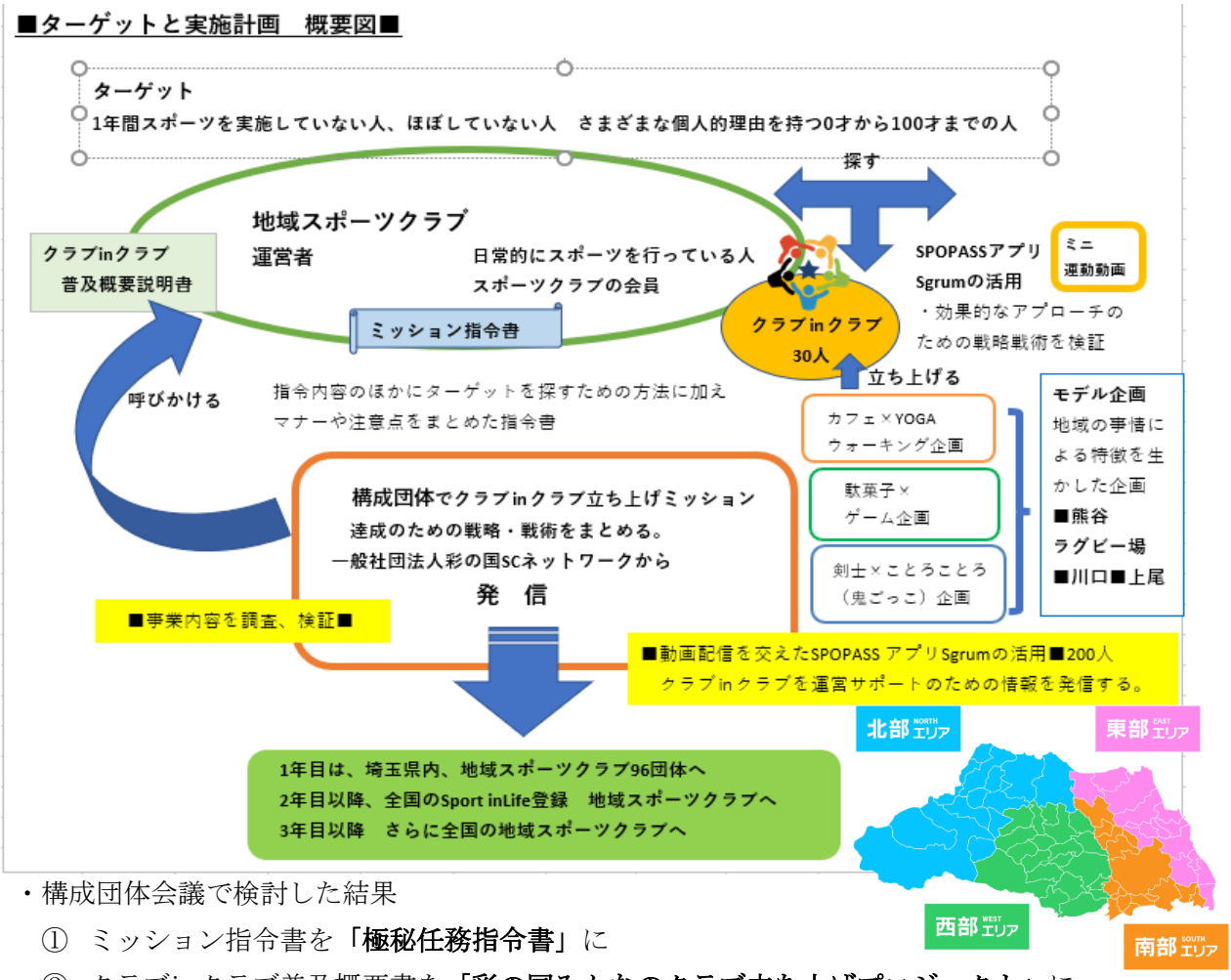
（３） 本事業で期待される効果

この事業では、「スポーツから遠ざかっている人を探せ」とのミッション＝極秘指令の内容を、日ごろから定期的にスポーツを行っている総合型クラブの運営者や会員が共有し、力を合わせて「この１年間スポーツを実施しなかった人」に企画イベント参加への声がけをすることにより、スポーツ実施者の増加方策となる直接的な掘り起こしができる。

また、関わった埼玉県内の総合型地域スポーツクラブが、１年間スポーツをしてこなかったようなターゲットが魅力を感じるような新たな企画イベントを考え、プログラムを再構築したうえで実施することが、事業の幅を広げ、会員を増やすことにもつながる。

３．本事業の実施内容

（１） 事業の実施概要



・構成団体会議で検討した結果

① ミッション指令書を**「極秘任務指令書」**に

② クラブinクラブ普及概要書を**「彩の国みんなのクラブ立ち上げプロジェクト」**にそれぞれ変更し、広報啓発リーフレットを制作し、県内９３クラブへ配布

■極秘任務指令書の制作

「**スポーツから遠ざかっている人をさがしだせ**」忍者をイメージし、巻物風デザイン。

日頃からスポーツをしている人が、していない人に声がけをし、ちょこっとスポーツ企画イベントに誘っていただくことで両者がスポーツの価値を共有する機会をつくる。

相手をよく観察、自分の価値観を相手に強制してはならない。などマナー啓発を盛り込む。

スポーツ総合センターなどに設置

■ターゲット別にちょこっとスポーツ企画イベント 3 例を企画し極秘任務指令書とともに配布

これら、ターゲット別①②③の企画イベント例３つをモデルとして提示。

それぞれ想定したターゲットが参加したくなるようなチラシを制作した。

広報では Sgrum やホームページを活用

ちょこっとスポーツ企画を実施することにより、企画ごとの特徴を比較することができ、後述スポーツ実施改善のための要因分析に役立てる。

3つの企画イベント

と 広報チラシ

企画イベント1

11 月 27 日（土）　■　カフェ×YOGA ウォーキング

ウォーキングと YOGA の時間

【ターゲット】　①対象　食わず嫌い・未経験タイプ Point『居心地』

【開催場所】　　熊谷ラグビー場

【内　容】

拠点は熊谷スポーツ文化公園ラグビー場の
スポーツカフェ Cup Ruggers
そこでロケーションを生かしたイベントを企画し、
参加を募る。
そこにいると自分が好きになる。そういった
モチベーションを高められるようなカフェでの
ひとときで居心地よく過ごせるようサポートする。

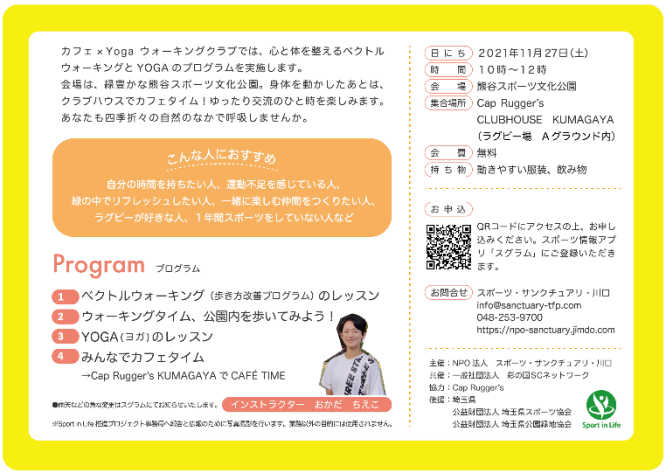
きれいに歩くためのベクトルウォーキング®メソッドを体験し、習得していく過程を楽しむ。

継続のために埼玉県のコバトンマイレージを紹介する。

【プロモーション】

まだ Sgrum アプリを利用している人が少ないため、県内総合型クラブにメールでお知らせ、およびゆったりしたイメージでデザインしたチラシを制作し郵送。

まずは、日頃スポーツを行っている方にロケーションを含めて興味をもってもらい、スポーツから遠ざかっている人に声がけをしていただく。


カフェ×Yoga ウォーキングクラブでは、心と体を整えるベクトルウォーキングと YOGA のプログラムを実施します。
会場は、緑豊かな熊谷スポーツ文化公園。身体を動かしたあとは、クラブハウスでカフェタイム！ゆったり交流のひと時を楽しみます。
あなたも四季折々の自然のなかで呼吸しませんか。

こんな人におすすめ
自分の時間を持ちたい人、運動不足を感じている人、
緑の中でリフレッシュしたい人、一緒に楽しむ仲間をつくりたい人、
ラグビーが好きな人、１年間スポーツをしていない人など

Program プログラム
1 ベクトルウォーキング（歩き方改善プログラム）のレッスン
2 ウォーキングタイム、公園内を歩いてみよう！
3 YOGA（ヨガ）のレッスン
4 みんなでカフェタイム
→Cap Rugger's KUMAGAYA で CAFÉ TIME

インストラクター　おかた　ちえこ

※Sport in Life 推進プロジェクト事務局へお送りと広報のために写真撮影を行います。実施以外の目的には使用されません。

日にち　2021年11月27日（土）
時　間　10時～12時
会　場　熊谷スポーツ文化公園
集合場所　Cap Rugger's CLUBHOUSE　KUMAGAYA（ラグビー場　Aグラウンド内）
会　費　無料
持ち物　動きやすい服装、飲み物

お申込
QRコードにアクセスの上、お申し込みください。スポーツ情報アプリ「スグラム」にご登録いただきます。

お問合せ　スポーツ・サンクチュアリ・川口
info@sanctuary-tfp.com
048-253-9700
https://npo-sanctuary.jimdo.com

主催：NPO 法人　スポーツ・サンクチュアリ・川口
共催：一般社団法人　彩の国SCネットワーク
協力：Cap Rugger's
後援：埼玉県
公益財団法人 埼玉県スポーツ協会
公益財団法人 埼玉県公園緑地協会
Sport in Life

　人から人への口コミによる広報方策を探る。

企画イベント２

12 月 12 日（日）　■ 駄菓子×ゲーム　　多世代交流企画

ミニゲームで駄菓子を Get！　第 1 部　ゲームコーナー

第 2 部　成果発表会

【ターゲット】　②　対象　見守り・無関心タイプ

Point『心から笑顔に』

【開催場所】　川口　SKIP シティ彩の国ビジュアルプラザ４階　映像ホール

【内　容】　身体を使ったゲームなど、遊んでいることとスポーツの境目がないサーキットプログラムを組む。多世代が楽しめる駄菓子などを獲得するため、いつの間にかゲームに本気で参加し思いっきり笑えるような時を過ごす。

【プロモーション】

選手が日頃からの練習の成果を発表する場に、家族、友だちなど一緒に遊び、応援してもらう人を誘う。

総合型クラブ以外に、地域のスポーツ団体にも後援を受け、市内各所でチラシを配布。

チラシは、参加したくなるような多世代がゲームを楽しむイラストを中心にデザイン。

地域でのつながりを生かした広報方策を探る。

企画イベント3

2022 年1月 8 日（土） ■ **剣士×ことろことろ（伝承鬼ごっこ）**

子どもから大人までみんなあつまれ～

【ターゲット】　③　対象　憧れ止まり・苦手意識・おこもりタイプ

Point『共に過ごせる仲間』

【開催場所】　上尾　スポーツ総合センター

【内　容】　「ことろことろ」にまつわるストーリーを紹介し楽しむ。
ちょこっと仮装したり、紙でつくった剣などを用いたゲーム性のある身体活動に挑戦する。
「ことろことろ」の後には「スポーツ鬼ごっこ」にも挑戦する。

【プロモーション】
チラシは剣士になりたいと思えるような動きのある、また歴史的背景や創作といったスポーツをイメージしない内容でデザイン。
県内の複数のクラブに協同を求め、極秘任務指令により、スポーツから遠ざかっている人に声がけし、共に参加いただくことで、事業内容を広め、参加者の幅をもたせる広報方策を探る。

■SPOPASS アプリ Sgrum の活用■

いずれの事業内容についても SPOPASS 既存のアプリである Sgrum を情報提供ツールとして活用する。はじめに、ターゲットごとのアプリ導入チラシを作成し、配布。興味を持ち Sgrum を入れて頂いた方に情報を発信する。

情報を共有するためアプリ Sgrum ありきのクラブを立ち上げる。イベント企画がない間のフォローとして**ミニ運動動画**を配信する。制作協力：武蔵丘短期大学

このアプリを通じて、話題の提供や活動日程や場所などの通知、雨天雪の際の室内開催への変更などについて希望者にお知らせすることが可能となる。

アプリ Sgrum を活用し、申込や調査などを行う。
チラシウラ面で Sgrum を通して申込み方法をお知らせ
（QR コードで案内）

結果：Sgrum アプリでの申込より、知人や家族からの紹介による口コミによる申し込みが圧倒的に多かった。

■クラブ in クラブの立ち上げ■

クラブ in クラブでは、通常地域クラブが運営の基盤とする毎週参加するスタイルのスポーツ活動ではなく、興味関心のある企画に対し、「この指とまれ」方式で募集をかける。企画への参加呼びかけに対し、継続ペースは参加者自身が決められる。

このようなスポーツコミュニティを立ち上げるための普及啓発資料について、企画段階では**「クラブ in クラブ普及概要説明書」**としていたが構成団体会議で検討を重ねた結果**よりメッセージ性の高い「彩の国みんなのクラブ立ち上げプロジェクト」略して「みんなのクラブ」リーフレット**に変更し制作した。その内容と普及方法について検討し、「みんなのクラブ」は構成団体の 1 つであり県内に 93 ある総合型地域スポーツクラブの統括団体である一般社団法人彩の国 SC ネットワークがプラットフォームとして運営を行っていくこととなった。

「彩の国みんなのクラブ」リーフレット

■構成団体会議の実施

第１回１０月２８日（木）オンライン会議　17 時～19 時

テーマ　・Sgrum の活用

・クラブ in クラブ立ち上げ、運営意見交換

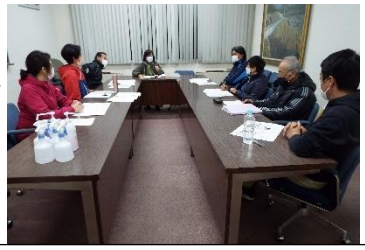
第２回.　１１月２７日（土）熊谷　12 時 30 分～14 時 30 分

・　事業の進捗状況報（協力体制、申し込み状況）

・極秘任務遂行者による企画イベント参加者募集について

・クラブ in クラブを再構築「彩の国みんなのクラブ」立ち上げについて意見交換

第３回.　R４年１月８日（土）上尾　17 時 00 分～19 時 00 分



・企画イベント実施結果及び調査進捗状況報告

・「彩の国みんなのクラブ」の活用検討

・取組継続へ向けた意見交換

■ミニ運動動画の制作と配信

毎月１回　配信

当初 Sgrum のみで配信したが、アクセス数につながらず QR コード配布を検討

循環運動　上肢編

https://youtu.be/ak77tw5L4gc

循環運動循環運動　スクワット編

https://youtu.be/_KCm7T2j8tw

循環運動　下肢編

https://youtu.be/90PKBSeOKeo

ベクトルウォーキング

（身体に負担のないご自身にあった歩き方をみつけるワーク）

①継ぎ足歩行

https://youtu.be/cHJz50LtdOo

②一歩踏み出し歩行

https://youtu.be/OJg24zoacPk

③ナンバ歩き

https://youtu.be/a7b5nABpn0w

④ねじり歩行

https://youtu.be/gi5_FcJVjjY

ストレッチ　肩・首・胸・腕編

https://youtu.be/feDPJQTBx1M

ストレッチ　下肢編

https://youtu.be/9T-N5x5M42Q

ストレッチ　背中・腰編

https://youtu.be/ZKkneeQhJIo

（２） 事業の実施結果

■企画イベント実施結果

ターゲット①対象　**食わず嫌い・未経験タイプ**　　Point『居心地』

企画イベント　：カフェ×YOGA ウォーキング　ウォーキングと YOGA の時間

【参加人数】目標参加者　30 人　　結果　一般参加：**24 人**

関係者　：7 人（協力クラブ数 3）

※　スポーツから遠ざかっている人からの申し込み　：**12 人**

【気づき】

・クラブ単位での声がけはせず、あくまで人から人への口コミ、Sgrum による情報提供からの集客を中心としたことで、企画イベントのテーマ『居心地』を楽しんでいただくことができたようで、継続したいとの声が多かった。

・Sgrum からの情報提供による申し込みは、期間が短かったこともあり、予想したより少なかった。事実を受け止め今後の企画イベント実施に役立てたい。

・歩き方講習（ベクトルウォーキング）では重心移動の習得に関心を持ってくださった。その後、公園ウォーキングは 3Km 程度でちょうどよかったとの意見が多かった。広場での YOGA では、BGM を心地よく聞きながら仰向けに寝たとき（シャバアーサナ）ずっとこのままでいたかった、最高だったという声が多くあがった。

ウォーキングにとてもよいロケーションです。

歩いた後、座ると気持ちいい～♪

シャバアーサナでリラックスタイムすっかり大地と同化

のびのび深呼吸～

・埼玉県スポーツ推進計画【オール埼玉による取組、スポーツを通じたレガシーの創出 】の拠点である熊谷ラグビー場のにぎわいを共につくることに寄与したい。

ターゲット②対象　**見守り・無関心タイプ**　　Point『心から笑顔に』

企画イベント ： **駄菓子×ゲーム**　　**多世代交流企画**

ミニゲームで駄菓子を Get！　第 1 部　ゲームコーナー

第 2 部　　成果発表会

【参加人数】　目標参加者 150 人　結果　一般参加：**163 人**(158 人＋招待者 5 人)

関係者： 13 人

※　スポーツから遠ざかっている人からの申し込み　：　**85 人**

【気づき】

・ベビーカーの赤ちゃんも含め 0 才から 85 才の幅広い参加となった。ターゲットとして揚げた 0 才～100 才までの参加実現に近づいた。

・かんたんなゲームだけど真剣勝負！これが思いがけず笑顔を生む

・普段は見守っている立場の保護者がはじけていた。

・成果発表会では、友だち、兄弟姉妹もステージにあがって、選手と一緒に記念撮影。

スナップ　第 1 部　ゲームコーナー

子どもを抱いたままサーキットに挑戦！→

ニチレクボール

ディスゲッター

輪投げも真剣。　思わずポーズ！ヤッタ～

最後のコーナーはなんと誰でもできるジャンケンポン

第２部　成果発表会　では、練習した演技をステージから発表し、お友だちや家族が応援

ターゲット③対象　**憧れ止まり・苦手意識・おこもりタイプ**

Point『共に過ごせる仲間』

企画ベント　剣士×ことろことろ（伝承鬼ごっこ）　子どもから大人までみんなあつまれ～

【参加人数】　目標参加者　30 人　　結果　一般参加：　**23 人**

関係者：　11 人＋2 クラブ（10 人）

※　スポーツから遠ざかっている人からの申し込み　：　　**7 人**

【気づき】

・県内の複数クラブからの声がけによって、多方面から参加者が集うこととなり非日常的な空間の中で行われる遊びの場に、日頃から一緒に過ごしているコーチや友だち、家族とともに安心して飛び込んでいただけるシチュエーションに安心感があったようだった。

・とくに、息子さんのお友だちである 3 日前にお父さまが亡くなった小学生（低学年）を一緒に連れてきた総合型地域スポーツクラブの運営スタッフがいた。地域のクラブだからこその深いつながりに脱帽した。その子は気丈にもすべての企画に参加し、まったく悲しいようすを周りに見せなかった。スポーツのなせる力を感じる出来事であった。

・今後は、知らない人ばかりの中だからむしろ思い切って参加するケースにもつなげたい。

・人気アニメキャラの好きな遊び「ことろことろ」から歴史への興味を促すシーンでは、楽しみを共有したり自身が声がけした参加者に気づかうようすがみられた。

・イベント開始直後はイスに座って見学する立場をとっていた保護者（母）がいつの間にか「ことろことろ」のリーダーに自ら手をあげ、参戦していた。

・最初から最後まで本を読んでいるが、友だちとともに会場スペースを移動している小学生（高学年）のように自由な参加スタイルがあったことも、当事業の目的に合っている。

剣をつくろう
大人も子どもも真剣勝負スポーツ鬼ごっこ

剣士対戦
いざっ！戦いの場へ

↑ことろことろ

用具にふれる度、対戦中にもこまめに消毒を実施

作戦タイムも大切

４．本事業の実施体制

（1） 本事業の実施体制

プロジェクトチームの構成団体について

〇代表団体

名称	特定非営利活動法人スポーツ・サンクチュアリ・川口
コンソ加盟	Sport in Life コンソーシアムへ加盟
代表者職･氏名	代表理事　相澤雄治
所在地	埼玉県川口市西青木
業務内容	0 才～100 才までみんなの地域スポーツクラブを合言葉に健康スポーツ活動を行う。官公庁からの事業委託実績も多い。
PT（プロジェクトチーム）における役割	・プロジェクトリーダーを置き、各構成団体の連絡調整や経理を担当 ・リーダー育成のためのプログラム作成および指導担当・映像構成 ・リーダー育成講習会の手配と実施・ベクトルウォーキング®の提供 ・イベント企画遂行のための諸調整、開催施設調整及び実施 ・事業進捗の確認、調査内容取りまとめと報告など
本事業に関連するノウハウ、リソース、ネットワーク等	・毎週 27 クラスの多世代、健康スポーツの「定期クラス」を公共施設などで開催、会員自身も運営に携わる。 ・従来会員のスポーツ実施における継続率を 96%に保ってきたことに加え、スポーツ習慣のない方に向けたプログラム開発と提供方法を検証し、そのノウハウを生かした指導者育成を実施してきた。 コロナ禍での安全安心のための人数制限などの環境におかれながらも会員の 90%以上が活動を継続している。 実績・歩きたくなるまち秩父（経産省委託事業）の構成団体として 関節痛を持つ方のウォーキングコースや宿泊ツアーを企画 ・2016～17 年スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム「現代を生きる大人のための都市型ウォーキングコミュニティ推進プロジェクト」実施 ・クラブマネジャーは民間企業やスポーツクラブの健康増進関連事業の立ち上げと閉鎖、スタッフ教育、フィットネス事業のプログラム作成、コンサルタントを務める中で、高額な会費を徴収する民間スポーツクラブ、公共施設における公益性の高いスポーツ活動の両者において経験を積んでいる。

〇構成団体（構成団体が複数ある場合はそれぞれ作成してください）

名称	埼玉県　(担当部署　県民生活部　スポーツ振興課)
コンソ加盟	※Sport in Life に参画、現時点でコンソーシアム加盟はなし
代表者職･氏名	埼玉県県民生活部　スポーツ振興課　課長　浪江　美穂
所在地	埼玉県さいたま市浦和区高砂
業務内容	官公庁
PT（プロジェクトチーム）における役割	・事業実施全体におけるアドバイス ・開催施設における調整と広報活動への協力 ・効果調査などの結果を共有し、埼玉県他部署への啓発
本事業に関連する実績、ノウハウ、リソース、ネットワーク等	スポーツを通じた元気な埼玉づくりを推進 埼玉県内総合型地域スポーツクラブ育成支援 ラグビーワールドカップ 2019 のレガシー創出事業との協働 コバトン健康マイレージプロジェクト

名称	一般社団法人彩の国 SC ネットワーク
コンソ加盟	※Sport in Life コンソーシアム加盟
代表者職氏名	代表理事　田口嘉章（たぐち　よしあき）
所在地	埼玉県さいたま市浦和区領家（NPO 法人浦和スポーツクラブ内）
業務内容	県内の総合型地域スポーツクラブが集まり、クラブ間のネットワークを活かしてクラブ相互または他業界（異業種）との連携を促進し、県内のクラブが地域に根ざし、地域から必要とされ、より地域に貢献できるクラブとなることを目的に活動
PT（プロジェクトチーム）における役割	・県内総合型地域スポーツクラブへの広報 ・クラブ in クラブのしくみ検証と普及 ・アプリ Sgrum の普及
本事業に関連する実績、ノウハウ、リソース、ネットワーク等	クラブと地域のむすびつきをより強くし、クラブの活動に必要なモノやヒトを通じてバックアップ 県内クラブの自立、連携推進に向けた親睦会、研修会などを開催 全国に広がる都道府県の統括団体（連絡協議会）との横のつながりがすでに構築出来ている。

名称	サクラスポーツ有限会社
コンソ加盟	※Sport in Life コンソーシアム加盟
代表者職氏名	代表取締役　市村孝志
所在地	埼玉県川口市芝下
業務内容	ラグビー、スポーツ用品の販売 飲食の提供、スポーツ教室、イベントの企画運営
PT（プロジェクトチーム）における役割	・Cap Rugger's CLUBHOUSE KUMAGAYA 運営の立場から企画立案 ・開催施設、およびスタッフ調整 ・クラブ in クラブ運営の実施　拠点
本事業に関連する実績、ノウハウ、リソース、ネットワーク等	チームセールスによる外商部、通信販売部、キャップ・ラガーズによるショップ、と３本柱でラグビー用品を総合的に販売 ラグビー、スポーツの豊かな文化を作るべく、クラブハウス型のショップを運営 総合型地域スポーツクラブとの関りも深い

名称	株式会社レピニット
コンソ加盟	※Sport in Life コンソーシアム加盟
代表者職氏名	代表取締役　中山健一
所在地	東京都中央区東日本橋
業務内容の	スポーツスクール・フィットネスジムの運営サポート及びコンサルティング、サポートシステム SPOPASS を運営
ＰＴ（プロジェクトチーム）における役割お	・クラブ in クラブ　設立、活動支援 ・オリジナルアプリ Sgrum を活用した情報提供のための講習会の実施 　とさらなる開発、提案
本事業に関連する実績、ノウハウ、リソース、ネットワーク等	オリジナルアプリ Sgrum は総合型地域スポーツクラブやプロスポーツチームをはじめ、様々な競技、幅広い年齢層にご利用頂いており、現在その数は 600 団体・利用者数は 70,000 人にのぼる。

（２） 本事業の実施スキーム

実施内容	2021 年			2022 年
	10 月	11 月	12 月	1 月 2 月
企画立案　全体	・ミッション指令→極秘任務指令 ・クラブ in クラブ設立 →みんなのクラブ　立上げ 立案と検討　オンライン会議	構成団体会議		構成団体会議
イベント企画立案 ～実施 構成団体	①　カフェ×YOGA ウォーキング　実施 11/27 ②　駄菓子＆ゲーム企画　実施 12/12 ③　剣士×ことろことろ企画　実施 1/8			
事業広報ツール チラシの制作 代表団体	①・②・③チラシ制作 ターゲット特徴の考察と分類 オンラインで打合せ **・極秘任務指令書** **・みんなのクラブ**リーフレット 制作	配布 関係各所配布協力依頼		
プロモーション デザインを専門チーム に依頼し検討を重ねる	県内クラブへチラシと 極秘任務指令書郵送 Sgrum プロモーション 10/28:オンライン講習会 メール・HP・Sgrum 連絡	**彩の国みんなのクラブ立上げプロジェクト** ・みんなのクラブ立ち上げ説明 ・県内クラブへの広報方策を～探る ・各所後援依頼と協力体制の構築		
企画イベントの実施 sgrum による動画配信	10/15　動画映像の撮影 →動画編集　→　→	企画イベント ①実施 **11/27** 動画配信１	企画イベント ②実施 **12/12** 動画配信２	企画イベント ③の実施 **1/8** 動画配信３　４ 2/9
事業の調査と検証 ⇒報告	構成団体間における情報共有　→　構成団体会	調査① 中間報告	調査②	調査③ 比較検証 最終報告

５．事業の実施効果（スポーツ実施頻度、実施意欲の改善効果）

（１） 効果検証方法

■各企画イベント参加者における「スポーツから遠ざかっている人」の割合を調べる

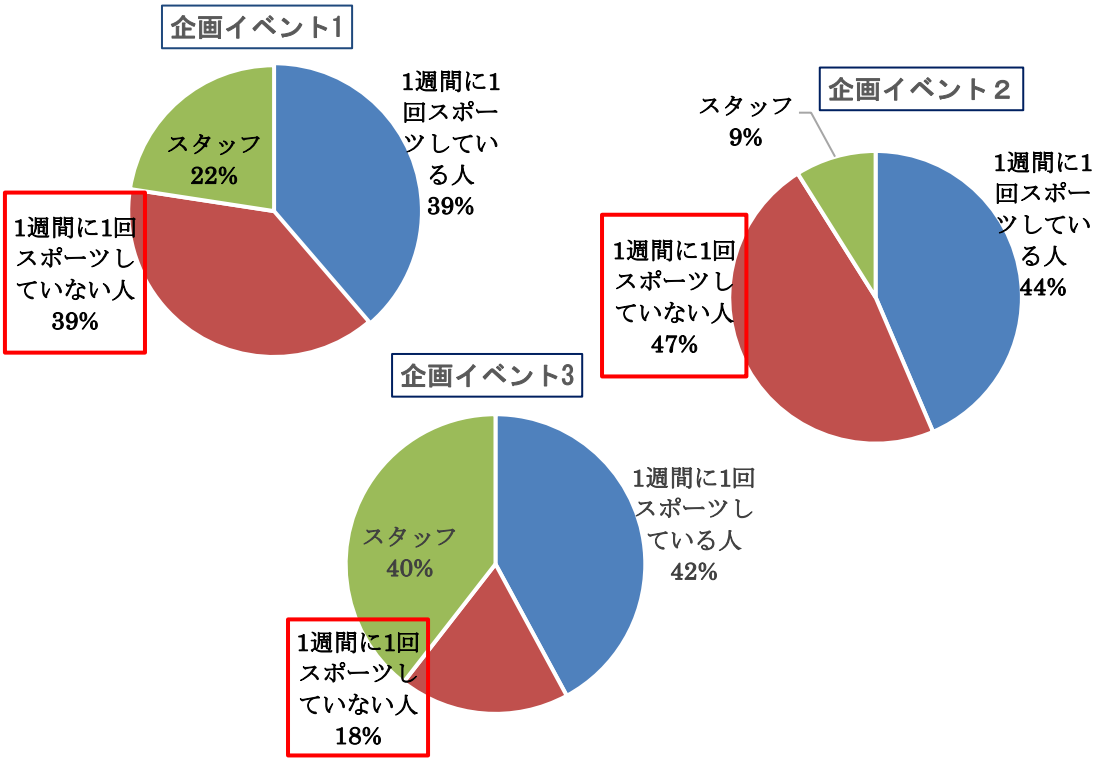
・２つの割合を調べる

スポーツから遠ざかっている人からの申し込み人数

日ごろからスポーツを行っている人（極秘任務指令受け者）の人数

（２） 効果検証の結果

		参加者計	スタッフ関係者	その他	合計（人）	1週間に1回スポーツをしていない人＝スポーツから遠ざかっている人の	割合
企画イベント① 11月	熊谷	24	7		31	12	**39%**
企画イベント② 12月	川口	158	16	5	179	85	**47%**
企画イベント③ 1月	上尾	23	15		38	7	**18%**
合　計　（平均%）		205	38	5	248	104	**42%**



６．スポーツ実施改善の要因の分析（阻害要因や促進要因の仮説検証）

■スポーツ実施者の増加方策を探るため、ターゲットごとの特徴をふまえた仮説検証

ターゲット①　　阻害要因　食わず嫌い・未経験タイプ
　　促進要因　Point『居心地』

【検証と考察】 居心地のよさは促進要因につながった！

・背景に信頼のある人から人への口コミが有効
・居心地のよさを演出する企画がポイントとなる
・参加者が増えるまでに十分な時間をかけて育てていく必要がある。

ターゲット②　　阻害要因　見守り・無関心タイプ
　　促進要因　Point『心から笑顔に』

【検証と考察】 心から笑顔になれた瞬間から、自分自身の楽しみになる！

・以前、成果発表会のみを行っていた時より参加者が生き生きとしている。
・身近な人を応援する気持ちを生かす
・本気で遊べる瞬間を生み出すゲーム方法などシンプルな演出が有効

ターゲット③　　阻害要因　憧れ止まり・苦手意識・おこもりタイプ
　　促進要因　Point『共に過ごせる仲間』

【検証と考察】共に過ごせる仲間を見つける、仲間がいる場所をつくることが促進要因となる

・コーチなどクラブ関係者からの声がけにより友だち、家族を誘った結果、スポーツから遠ざかっている人を巻き込むことができた。
・企画時の過ごし方を強制しない、そこにいることだけでよい。
・本気で戦うことと遊びの境界線がないことを感じられる非日常的瞬間をサポートできる体制をとるため、安全面、プレー方法、参加者を動かしていくしくみなどの準備を綿密に行う必要がある。

７．本事業から得られた波及効果

・日頃から地域の多様な人とコミュニケーションをとっている総合型地域スポーツクラブでは、運営者のもつスキルを生かすことがスポーツ実施者を増やすために有効であるとともに、数クラブが協同で行う企画イベントでは、お互いのノウハウを共有することによって、足りないところを補いあい、また、得意分野を伝え苦手分野を克服することができる。継続することで、今後の展開に期待がもてる。

・地域の 1 クラブが、スポーツ関連以外の地域の商店街や、町内会などの地域団体とともに、企画イベントを実施し、スポーツ実施意欲のない人、きっかけがつかめない人を探り、参加いただくまでのしくみを構築していくことで、新たな組織間のつながりが生まれるなど、コミュニティスポーツとしての成長につながる波及効果は大きい。
新たな事業モデルへの発展も期待でき、健康経営に参画することを検討している。

・埼玉県のスポーツ振興課などが構成団体として関わったことで、施設の確保やプロモーションがたいへんスムーズであった。構成団体がそれぞれに役割を担ったことで、今後も継続した連携につながっていくと実感している。

８．今後の事業展開予定

（1） 事業継続や横展開に向けたポイント、課題

【スポーツを行っている人がスポーツを行っていない人を誘うためのしくみにおける課題】

・当初の想定と違いアプリからの情報提供では、なかなか申込みにつながらなかった。
・声がけのための啓発ツール「極秘任務指令」については、もっと有効に活用できると考えられ、検討を続けたい。
・参加者を募る場合には、その組織（総合型クラブ）が、企画に主体的に関わることが有効であった。しかし、仮に「極秘任務指令」を理解し、企画には加わらずとも「参加者を募る」ことに対し、もっと直接的に協力するような組織（クラブ）が現れてもよいと考えられる。これを含めてしくみづくりが出来ればスポーツ実施者の増加につながる。

【横展開に向けたポイント】

・さらなる連携のかたちを探る。そのために事業を継続し進化、深化させていくことが連携を深めていくことにつながると再認識することが出来た。
・上記の課題を解決することをふまえ、３つの企画イベントに加え、新たな企画を実施しながら、関係者（構成団体）間の意見交換を継続的に行っていきたい。

（２） 次年度以降の事業継続、横展開の計画

【事業の継続について】

・**極秘任務指令書**について、さらに普及啓発し、多くのスポーツ実施者が、多くのスポーツから遠ざかっている人に声がけするための、ちょこっとスポーツ企画を継続する。また、県内クラブから新しい企画も募集する。

・SNS や構成団体の HP から、これらのメッセージを続ける。

・ **彩の国みんなのクラブ**の活用と　それを日常化するためのアプリ Sgrum からの情報発信を継続するため、県内の総合型地域スポーツクラブに１つずつアドレスを持っていただくしくみを構築する。
このしくみを、令和４年度から開始される登録制度における埼玉県内クラブのメリットとして、情報共有できるオンライン上のコミュニティの役割を担うものとして活用するとともに、登録をしないが活動を継続するクラブに対しても Sgrum 利用を進め情報を発信することで、登録制度の価値について普及啓発を行うことに生かしていく。（構成団体会議で検討済み）

【事業の横展開について】

・ **彩の国 SC ネットワーク**が、当事業で立ち上げた**彩の国みんなのクラブの**プラットフォームを担い、県内クラブそれぞれの会員を増やすことで信頼を得ながら、基盤となり事業を継続していくまでの実績をノウハウとしてまとめる。

・ 他県の総合型地域スポーツクラブの支援を担う組織などに、そのノウハウを公開し、普及啓発する。

・ ２年目はさらにノウハウをまとめ県内クラブに発信普及、3 年目からは、その事例を元に、県外において興味をもつ組織への情報提供を始める。そのために、スポーツ庁が枠組みを示し日本スポーツ協会が事務局を務める SC 全国ネットワークの登録制度における機運を活かし各地域のスポーツ実施率向上に役立てる。

（３） 今後の事業展開に向けて期待される Sport in Life プロジェクトにおける取組

・ 当事業では、気軽に参加でき、また、不定期に行われる「ちょこっとスポーツ企画イベント」について、多くの人に興味を持って参加いただくために、日頃スポーツを行っている人が、行っていない、すなわち遠ざかっている人に声をかける。現在まで、とくに意図的に行われていなかったことをしくみにしようといういたってシンプルな事業であるため、現在、地域スポーツ活動を行っている団体

であれば、取組むことが出来る。

- Sport in Life プロジェクトが掲げる「ひとつのチームで、スポーツを生活の中へ、もっと！週イチスポーツする人を、もっと！」の価値を感じた人が具体的に動いていく方法のひとつとしてこの取組を伝え広げていきたい。

９．終わりに

参考資料　アンケート調査票・分析結果詳細

次ページから掲載

アンケート調査・分析結果

企画イベント1：Café×YOGA　ウォーキング（埼玉県熊谷市）

企画イベント2：ミニゲームで駄菓子を GET！（埼玉県川口市）

企画イベント3：剣士×ころころころ（埼玉県上尾市）

	参加者	アンケート回答数	回収率
企画イベント1	31人	21人	68%
企画イベント2	179人	134人	72%
企画イベント3	38人	23人	61%

回答方法

	用紙で回答	Sgrum で回答	合計
企画イベント1	15人	6人	21人
企画イベント2	129人	4 人	133 人
企画イベント3	19人	4人	23人

①用紙で回答

イベント後にアンケート用紙を配布、回収

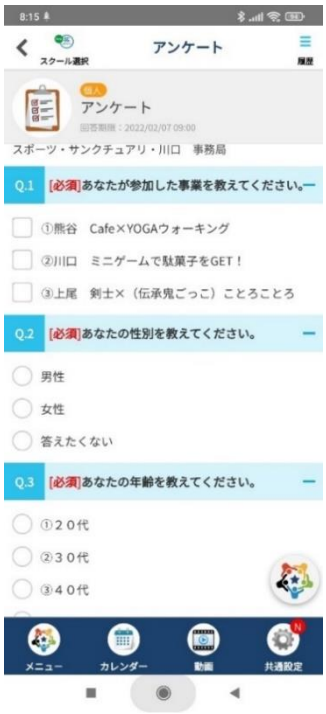
① Sgrum で回答

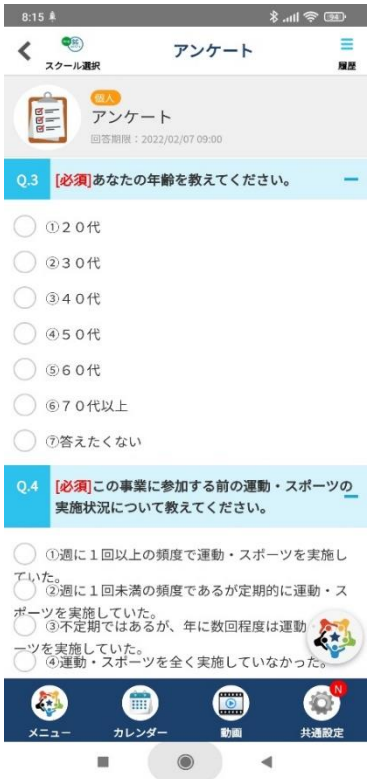
イベント後に Sgrum にてアンケートを配信

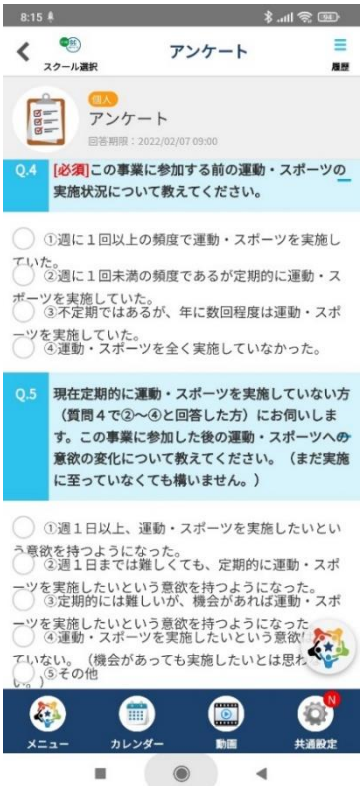
Sgrum

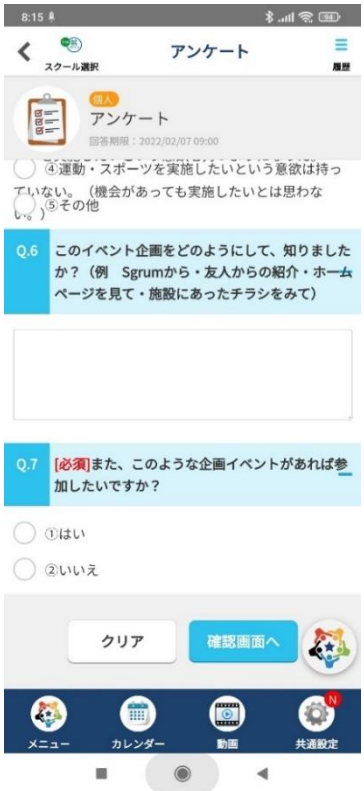
Sgrum
スクール選択
MENU
検索するキーワードを入力
会員へのお知らせ
2022/01/24
動画配信のお知らせ
会員お便り・資料連絡
2021/11/19
Cafe×YOGA　ウォーキングイベ...
アンケート
2022/02/07 08:14
Sport in Life推進プロジェク...
おやすみ連絡
現在、配信データはありません。
毎日のヘルスチェック
現在、未回答のデータはありません。
掲示板
現在、投稿はありません。
メニュー
カレンダー
動画
共通設定

アンケート
スクール選択
履歴
個人
アンケート
回答期限：2022/02/07 09:00
Sport in Life推進プロジェクト　イベント企画参加者アンケート（印刷用）
Sport in Life推進プロジェクト　イベント企画にご参加の皆さま
Sport in Life推進プロジェクト　イベント企画にご参加頂き、ありがとうございました。お天気にも恵まれ多くの方にご参加頂き、大盛況で終えることができました。
スポーツ実施率に関するアンケート調査にご協力ください。回答数が少ない為、再送させて頂きます。紙で提出された方は重複してしまいますが、こちらからもご回答頂けますと幸いです。
彩の国SCネットワーク
スポーツ・サンクチュアリ・川口　事務局
Q.1 [必須]あなたが参加した事業を教えてください。
Q.2 [必須]あなたの性別を教えてください。
Q.3 [必須]あなたの年齢を教えてください。
メニュー
カレンダー
動画
共通設定


アンケート
スクール選択
履歴
個人
アンケート
回答期限：2022/02/07 09:00
スポーツ・サンクチュアリ・川口　事務局
Q.1 [必須]あなたが参加した事業を教えてください。
①熊谷　Cafe×YOGAウォーキング
②川口　ミニゲームで駄菓子をGET！
③上尾　剣士×（伝承鬼ごっこ）ことろことろ
Q.2 [必須]あなたの性別を教えてください。
男性
女性
答えたくない
Q.3 [必須]あなたの年齢を教えてください。
①２０代
②３０代
③４０代
メニュー
カレンダー
動画
共通設定


アンケート
スクール選択
履歴
個人
アンケート
回答期限：2022/02/07 09:00
Q.3 [必須]あなたの年齢を教えてください。
①２０代
②３０代
③４０代
④５０代
⑤６０代
⑥７０代以上
⑦答えたくない
Q.4 [必須]この事業に参加する前の運動・スポーツの実施状況について教えてください。
①週に１回以上の頻度で運動・スポーツを実施していた。
②週に１回未満の頻度であるが定期的に運動・スポーツを実施していた。
③不定期ではあるが、年に数回程度は運動・スポーツを実施していた。
④運動・スポーツを全く実施していなかった。
メニュー
カレンダー
動画
共通設定


アンケート
スクール選択
履歴
個人
アンケート
回答期限：2022/02/07 09:00
Q.4 [必須]この事業に参加する前の運動・スポーツの実施状況について教えてください。
①週に１回以上の頻度で運動・スポーツを実施していた。
②週に１回未満の頻度であるが定期的に運動・スポーツを実施していた。
③不定期ではあるが、年に数回程度は運動・スポーツを実施していた。
④運動・スポーツを全く実施していなかった。
Q.5 現在定期的に運動・スポーツを実施していない方（質問４で②～④と回答した方）にお伺いします。この事業に参加した後の運動・スポーツへの意欲の変化について教えてください。（まだ実施に至っていなくても構いません。）
①週１日以上、運動・スポーツを実施したいという意欲を持つようになった。
②週１日までは難しくても、定期的に運動・スポーツを実施したいという意欲を持つようになった。
③定期的には難しいが、機会があれば運動・スポーツを実施したいという意欲を持つようになった。
④運動・スポーツを実施したいという意欲は持っていない。（機会があっても実施したいとは思わない。）
⑤その他
メニュー
カレンダー
動画
共通設定


アンケート
スクール選択
履歴
個人
アンケート
回答期限：2022/02/07 09:00
④運動・スポーツを実施したいという意欲は持っていない。（機会があっても実施したいとは思わない。）
⑤その他
Q.6 このイベント企画をどのようにして、知りましたか？（例　Sgrumから・友人からの紹介・ホームページを見て・施設にあったチラシをみて）
Q.7 [必須]また、このような企画イベントがあれば参加したいですか？
①はい
②いいえ
クリア
確認画面へ
メニュー
カレンダー
動画
共通設定

■アンケート調査・分析結果（回答　大人）

Q-1　あなたが参加した事業を回答してください。

回答　省略

Q-２　あなたの年齢・性別を教えてください。

企画イベント１

大人	男性	1
	女性	20

企画イベント２

大人	男性	22
	女性	48

企画イベント３

大人	男性	4
	女性	6

企画イベント１

男性	20代	0
	30代	0
	40代	0
	50代	1
	60代	0
	70代～	0
	答えたくない	0
	計	1

女性	20代	0
	30代	0
	40代	7
	50代	3
	60代	5
	70代～	5
	答えたくない	0
	計	20

企画イベント２

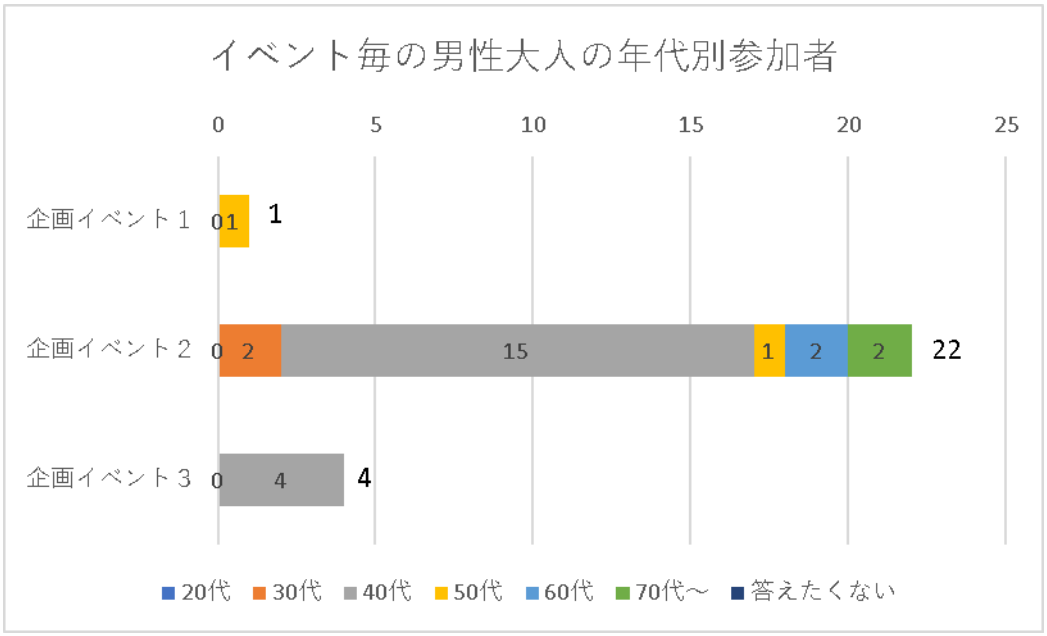
男性	20代	0
	30代	2
	40代	15
	50代	1
	60代	2
	70代～	2
	答えたくない	0
	計	22

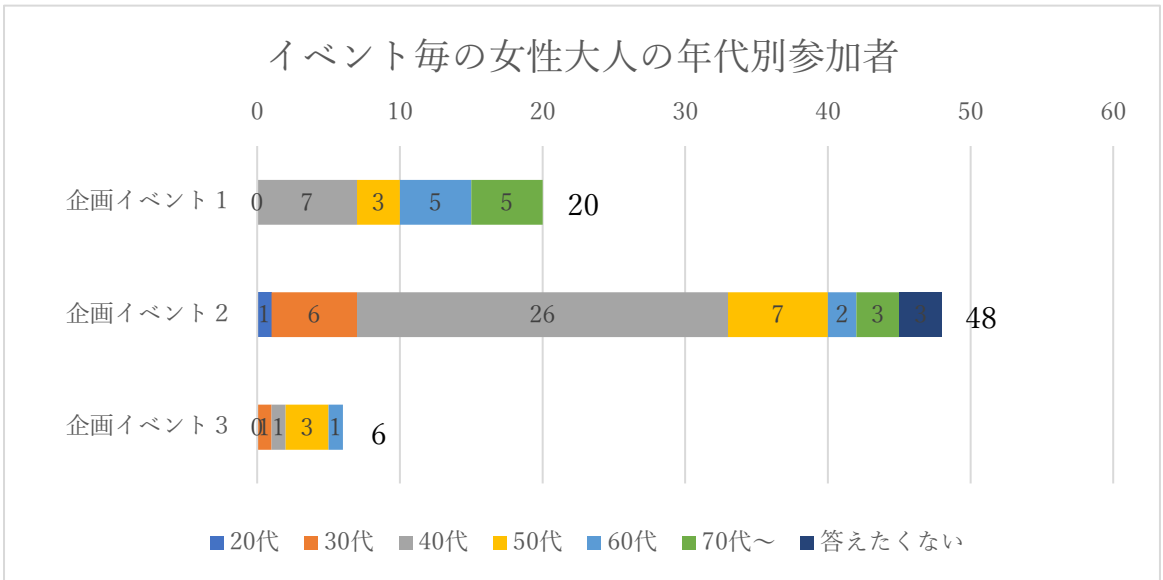
女性	20代	1
	30代	6
	40代	26
	50代	7
	60代	2
	70代～	3
	答えたくない	3
	計	48

企画イベント３

男性	20代	0
	30代	0
	40代	4
	50代	0
	60代	0
	70代～	0
	答えたくない	0
	計	4

女性	20代	0
	30代	1
	40代	1
	50代	3
	60代	1
	70代～	0
	答えたくない	0
	計	6





企画イベント１は Café と YOGA という女性が好きな企画だったため、男性の一般参加者が少なかった。20 代 30 代の参加者がなく、子どもと一緒のイベントではなかったため、子どもがある程度大きくなった人の参加となった。

企画イベント２、３は子どもと一緒にできるイベントである為、子育て世代の 30 代 40 代の参加が多かった。男性（お父さん、おじいさん）のご参加が多く、ご夫婦揃ってご参加頂く方が多かった。企画イベント２は参加した子どもが４歳から１９歳と幅広く、親や祖父母も幅広い世代の方のご参加となった。一般的に実施率の低いとされる子育て世代は子どもの送迎・付き添いをしながら一緒にスポーツをするというのが有効だ。

企画イベント３は埼玉県内の複数の地域総合型スポーツクラブがイベントに誘った。男性のご参加は子どもの父親、母親のご参加は少なかった。

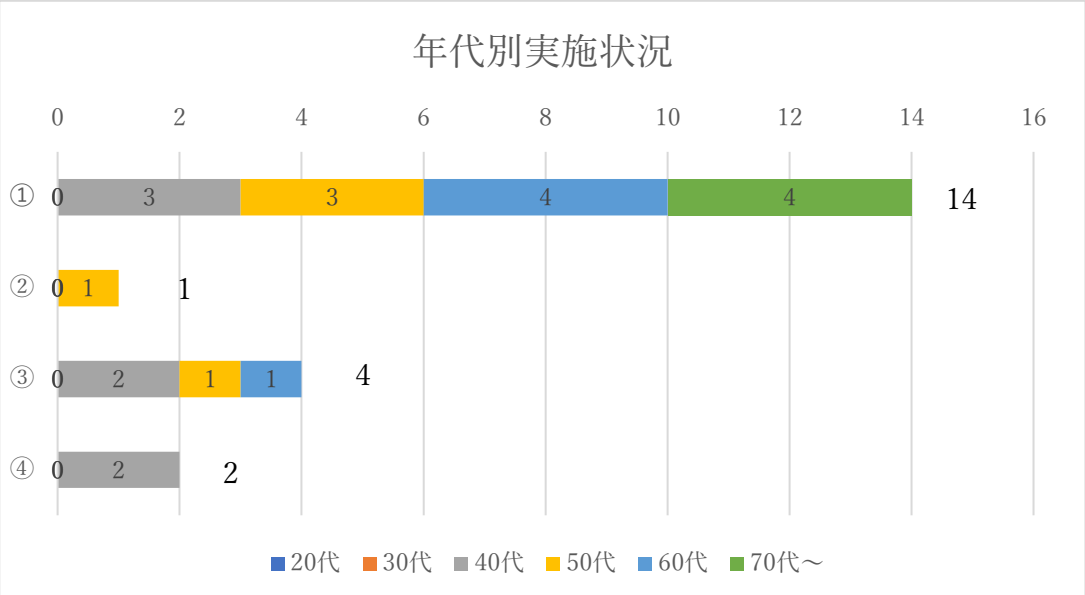
Q-３　この事業に参加する前の運動・スポーツの実施状況について教えてください。

回答
①**週に１回以上**の頻度で運動・スポーツを実施していた。
②**週に１回未満の頻度であるが定期的に**運動・スポーツを実施していた。
③**不定期**ではあるが、**年に数回**は運動・スポーツを実施していた。
④運動・スポーツを**全く実施していなかった**。

①　→　運動・スポーツが習慣づいている人
②～④　→　運動・スポーツを習慣として行っていない人

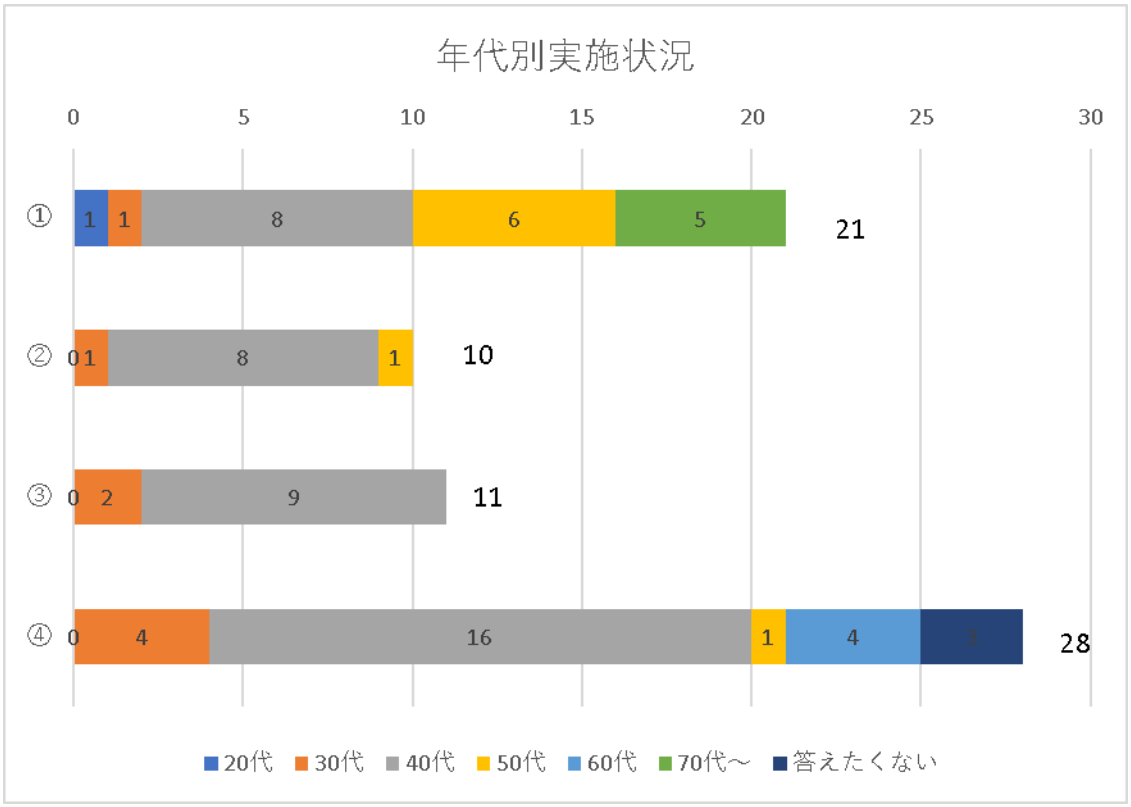
企画イベント１

	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計	
①	0	0	3	3	4	4	14	14
②	0	0	0	1	0	0	1	②～④の
③	0	0	2	1	1	0	4	合計
④	0	0	2	0	0	0	2	7



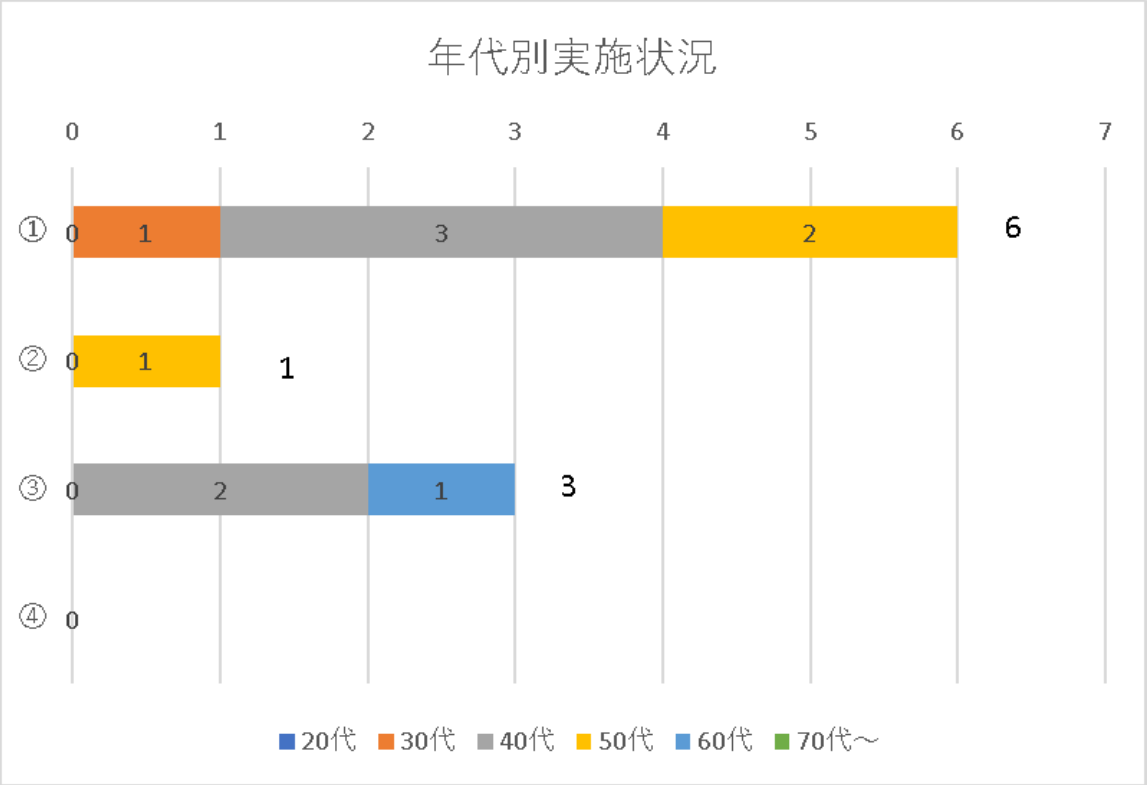
企画イベント２

	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	答えたくない	合計	
①	1	1	8	6	0	5	0	21	21
②	0	1	8	1	0	0	0	10	②～④の
③	0	2	9	0	0	0	0	11	合計
④	0	4	16	1	4	0	3	28	49



企画イベント３

	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計	
①	0	1	3	2	0	0	6	6
②	0	0	0	1	0	0	1	②～④の
③	0	0	2	0	1	0	3	合計
④	0	0	0	0	0	0	0	4



企画イベント１は予想より①（週に１度以上の頻度で運動・スポーツを実施している人）が多かった。７０代でクラブに所属してなく「スポーツから遠ざかっている人」として誘われたが、実際は散歩やラジオ体操等習慣的に行っていた方が多かった。一方、クラブに所属している方でヨガを運動・スポーツととらえず、習慣的に実施していると回答しなかった方もいた。

企画イベント２では参加者に４０代が多い中、④（運動・スポーツを全くやっていない）と回答した方がとても多かった。また、年齢を答えたくないと回答した方が 100%④（運動・スポーツを全くやっていない）と回答したのは興味深い。

企画イベント３では④（運動・スポーツを全くやっていない）と回答した方が０だった。

企画イベント１～３と共通して、子育て世代（３０代４０代）は①～④まで満遍なく分布している。運動・スポーツをやっていない方も多いが積極的にやっている方も少なくない。７０代以降は運動・スポーツ実施率がとても高い。

Q-４　現在定期的に運動・スポーツを実施していない方（Q-3 で 2②～④と回答した方）にお伺いします。この事業に参加した後の運動・スポーツへの意欲の変化について教えてください（まだ実施に至っていなくても構いません。）

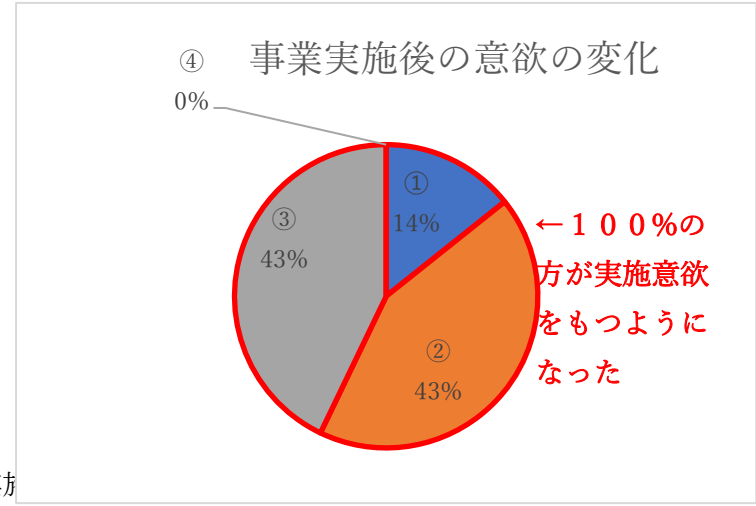
回答
①**週に１回以上、**運動・スポーツを実施したいという意欲をもつようになった。
②**週に１日までは難しくても、定期的に**運動・スポーツを実施したいという意欲を持つようになった。
③**定期的には難しい**が、機会があれば運動・スポーツを実施したいという意欲を持つようになった。
④運動・スポーツを**全く実施したいという意欲は持っていない**（機会があっても実施したいとは思わない。）
⑤その他

運動・スポーツを実施したいという意欲を持つようになった人（①＋②＋③）

企画イベント１

回答数＝7

①	1	7	実施しようと意欲をもった方
②	3		
③	3		
④	0	0	実施しようと意欲をもっていない方

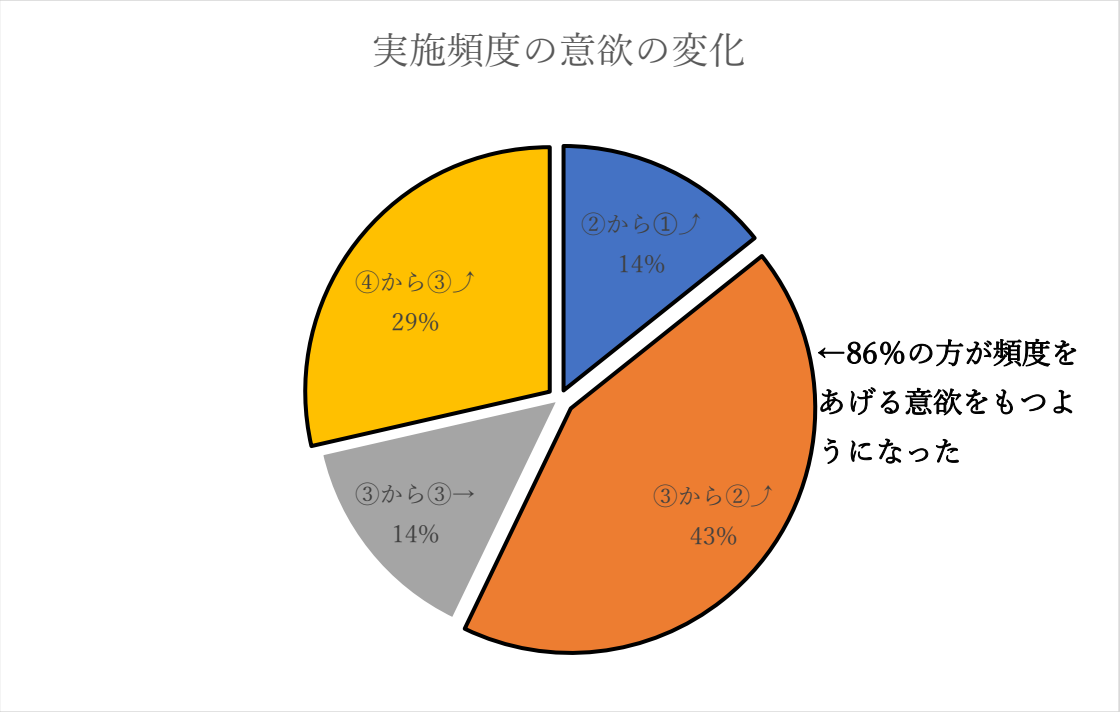


実施

Q-3 の回答から Q-4 の回答を比較し、頻度が上がった「⤴」・同じ「→」・下がった「↓」で表す

Q-3からQ-4	
②から①⤴	1
③から②⤴	3
③から③→	1
④から③⤴	2

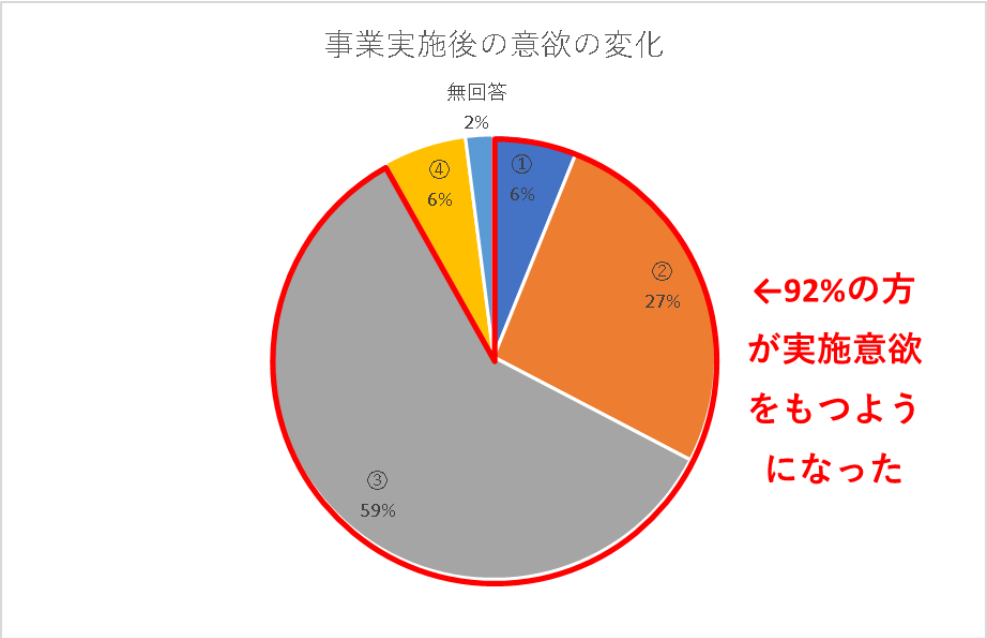
定期的に実施	から	週に1回以上	⤴
機会があれば実施	から	定期的に実施	⤴
機会があれば実施	から	機会があれば実施	→
全く実施していない	から	機会があれば実施	⤴



企画イベント２

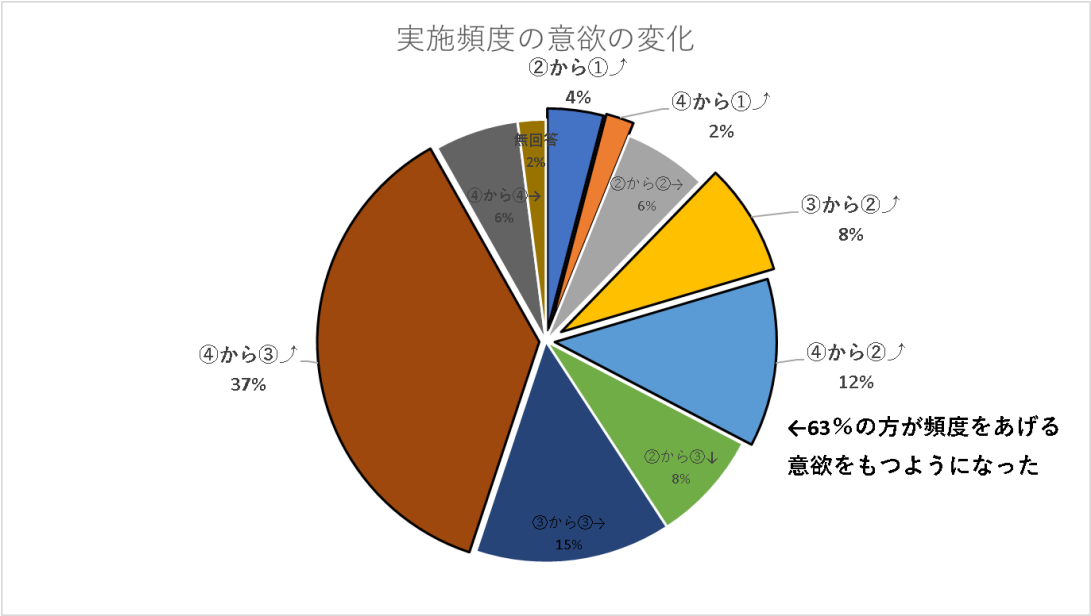
回答数＝49

①	3	45	実施しようと意欲をもった方
②	13		
③	29		
④	3	3	実施しようと意欲をもっていない方
無回答	1	1	



実施頻度の意欲の変化

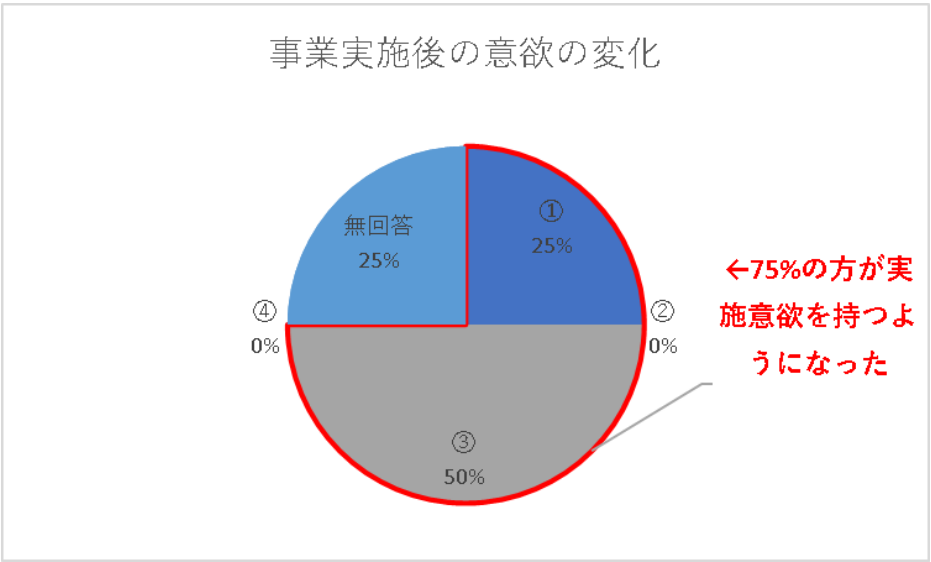
Q3の回答からQ4の回答		
②から①⤴	2	定期的に実施　から　週に1回以上　⤴
④から①⤴	1	全く実施していない　から　週に1回以上　⤴
②から②→	3	定期的に実施　から　定期的に実施　→
③から②⤴	4	機会があれば実施　から　定期的に実施　⤴
④から②⤴	6	全く実施していない　から　定期的に実施　⤴
②から③↓	4	定期的に実施　から　機会があれば実施　↓
③から③→	7	機会があれば実施　から　機会があれば実施　→
④から③⤴	18	全く実施していない　から　機会があれば実施　⤴
④から④→	3	全く実施していない　から　実施したいと思わない→　⤴
無回答	1	



企画イベント３

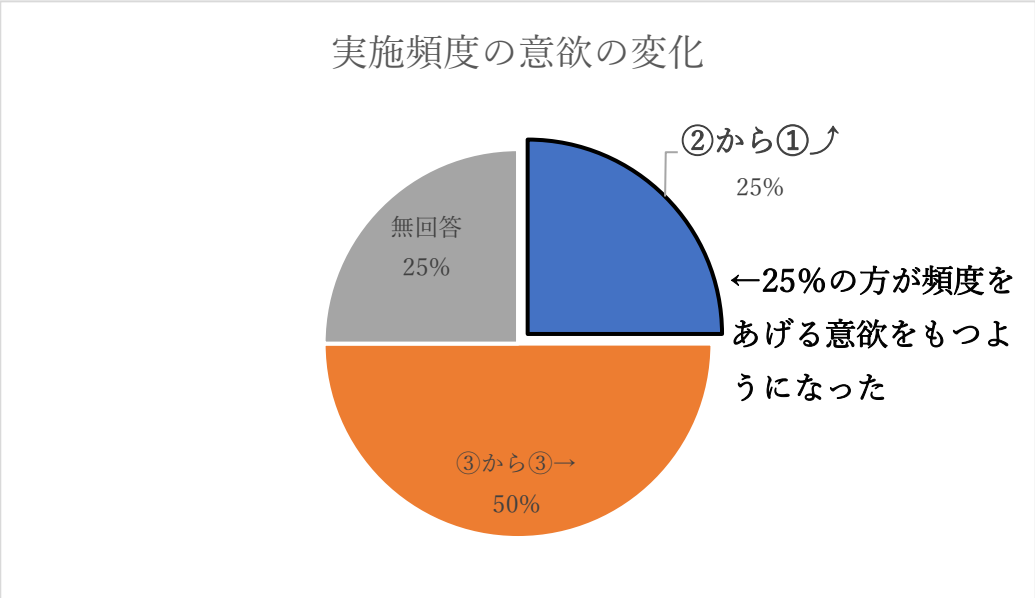
回答数＝4

①	1	3	実施しようと意欲をもった方			
②	0					
③	2					
④	0	0	実施しようと意欲をもっていない方			
無回答	1	1				



実施頻度の意欲の変化

Q3の回答からQ4の回答		
②から①⤴	1	定期的に実施　から　週に1回以上　⤴
③から③→	2	機会があれば実施　から　機会があれば実施　→
無回答	1	



どの企画イベントも③（定期的には難しいが、機会があれば運動・スポーツを実施したいという意欲を持つようになった）が一番多く、次に②（週に１日までは難しくても、定期的に運動・スポーツを実施したいという意欲を持つようになった）、①（週に１回以上、運動・スポーツを実施したいという意欲をもつようになった）と、頻度の低い順になった。かなり多くの方が運動・スポーツを実施したいという意欲をもつようになったと回答していた。簡単な運動・スポーツが体を動かす楽しさを知るもしくは思い出すきっかけとなったと考えられる。

一方、企画イベント２では④運動・スポーツを全く実施したいという意欲は持っていない）と回答した方も３人いた。

実施頻度の意欲の変化においては、１つ頻度をあげたいと回答する方が多い中、企画イベント２では④（全く実施していない）から①１人、④（全く実施していない）から②（週に１日までは難しくても、定期的に運動・スポーツを実施したいという意欲を持つようになった）が６人もいた。

Q-５　この企画をどのようにして、知りましたか？（オリジナル追加 Q）
（例　Sgrum から　友人からの紹介　ホームページを見て　施設にあったチラシをみて）

企画イベント１

チラシを見て	2
その他	2
知人の紹介	11

企画イベント２

サンクチュアリ会員の親族	52
友人の紹介	10
サンクチュアリ会員大人クラス	3
元サンクチュアリ所属の母	1

企画イベント３

コーチから	2
サンクチュアリより	1
友人からの紹介	2
スポーツ鬼ごっこを通じて	1

企画イベント１は知人の紹介が多い。

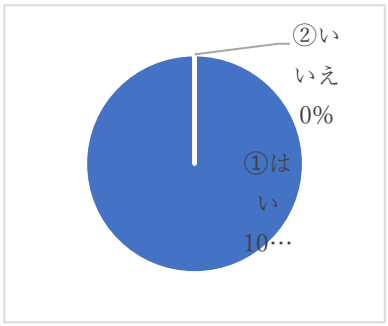
企画イベント２はサンクチュアリ（当クラブ）の親族が大半を占め、友人の紹介と続く。元サンクチュアリ会員の所属の子どもと母が来てくれた。

企画イベント３はクラブのコーチからの声掛け、友人の紹介が多かった。

Q-７また、このような企画イベントがあれば参加したいですか？（オリジナル追加Q）

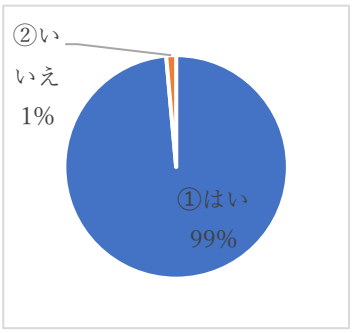
企画イベント１

①はい	21
②いいえ	0



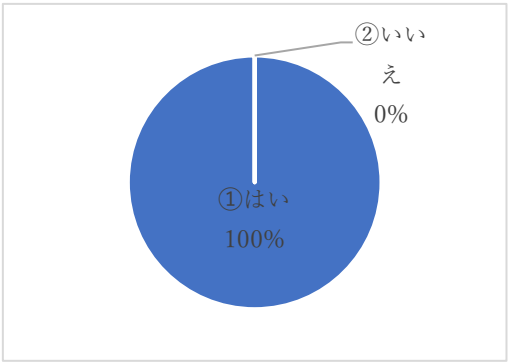
企画イベント２

①はい	69
②いいえ	1



企画イベント３

①はい	6
②いいえ	0



どの企画イベントも大多数の方にまたこのような企画イベントがあったら参加したいと回答して頂いた。しかし企画イベント２では②（いいえ）と回答した方もいたという事実も、今後の事業改善のために貴重な意見である。

■アンケート調査・分析結果（回答　子ども）

Q-1　あなたが参加した事業を回答してください。

回答　省略

Q-２　あなたの年齢・性別を教えてください。

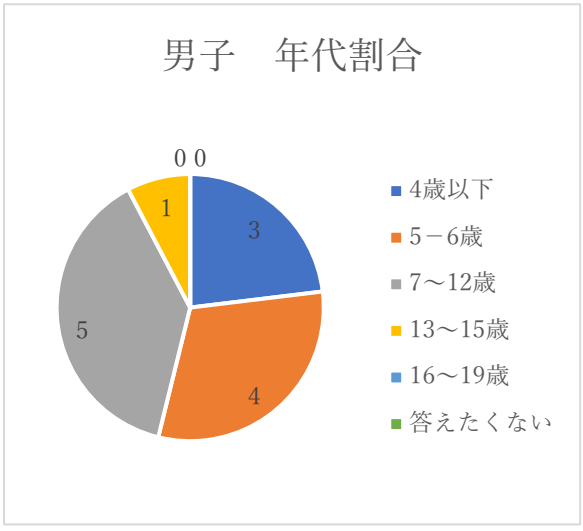
企画イベント１　　子どもの参加者なし

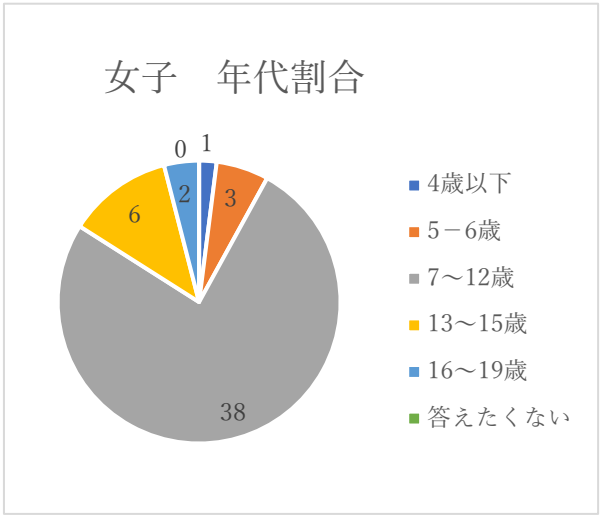
企画イベント２

子ども	男子	13
	女子	50

男子	4歳以下	3
	5－6歳	4
	7～12歳	5
	13～15歳	1
	16～19歳	0
	答えたくない	0
	計	13

女子	4歳以下	1
	5－6歳	3
	7～12歳	38
	13～15歳	6
	16～19歳	2
	答えたくない	0
	計	50



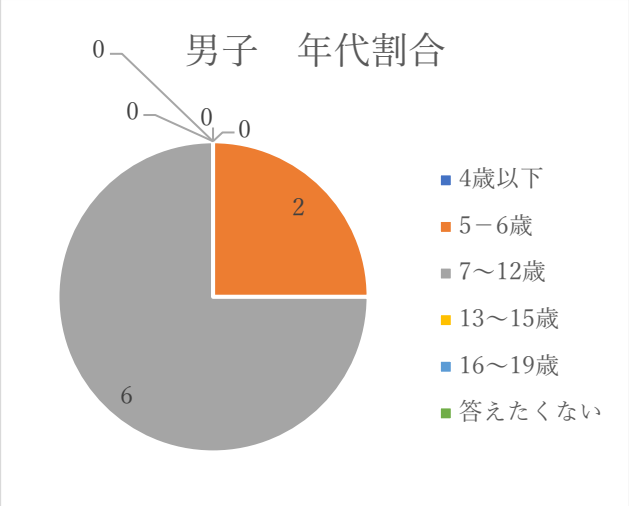


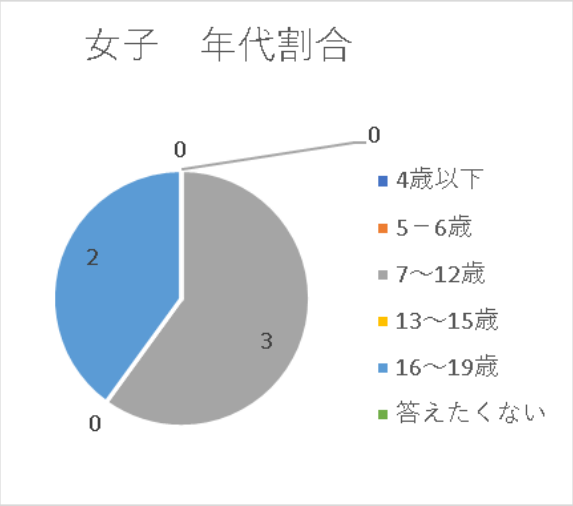
企画イベント３

子ども	男子	8
	女子	5

男子	4歳以下	0
	5－6歳	2
	7～12歳	6
	13～15歳	0
	16～19歳	0
	答えたくない	0
	計	8

女子	4歳以下	0
	5－6歳	0
	7～12歳	3
	13～15歳	0
	16～19歳	2
	答えたくない	0
	計	5





企画イベント２は幅広い年齢の子どもが参加した。

企画イベント３は複数のクラブが声をかけた結果、7 歳～12 歳が多く、NPO 法人武蔵丘スポーツクラブさんの声掛けで大学生も参加した。

Q-３　この事業に参加して、運動動・スポーツをすることを好きになりましたか。

回答
①好き
②やや好き
③変わらない
④やや嫌い
⑤嫌い

企画イベント２

男子	
①	10
②	0
③	3
④	0
⑤	0

女子	
①	29
②	6
③	15
④	0
⑤	0

③変わらないと回答してくれた子が手書きで「元々すき」と書いてくれました。（３人）

企画イベント３

男子	
①	7
②	0
③	1
④	0
⑤	0

女子	
①	5
②	0
③	0
④	0
⑤	0

③（変わらない）が元々好きでイベントの前後では変わらないと解釈すると、
①（好き）②（やや好き）が大多数を占める。

Q-４　この事業に参加する前、（学校、幼稚園の体育の授業以外で）運動やスポーツを１日に平均でどれくらい実施していましたか。

回答
①30 分未満
②30 分以上 1 時間未満
③1 時間以上 2 時間未満
④2 時間以上

①　→　運動・スポーツが習慣づいていない人
②～④　→　運動・スポーツが習慣づいている人

企画イベント２

男子	
①	*5*
②	4
③	4
④	0

女子	
①	*16*
②	16
③	9
④	9

男女合算	
①	*21*
②	20
③	13
④	9

企画イベント３

男子	
①	*1*
②	1
③	3
④	3

女子	
①	0
②	2
③	1
④	2

男女合算	
①	*1*
②	3
③	4
④	5

企画イベント２は①（30 分未満）が一番多く、②（30 分以上 1 時間未満）、③（1 時間以上 2 時間未満）、④（2 時間以上）と続く。

企画イベント３は企画イベント２の逆で、④（2 時間以上）が多く、③（1 時間以上 2 時間未満）、②（30 分以上 1 時間未満）、①（30 分未満）と続く。クラブに所属している子が多く、運動・スポーツ実施時間が長かった。

Q-５　現在定期的に運動・スポーツを実施していない方（Q-4 で①と回答した方）にお伺いします。この事業に参加した後の運動・スポーツ実施への意欲の変化について教えてください。
（まだ実施に至っていなくても構いませんので、運動・スポーツ実施への意欲につい

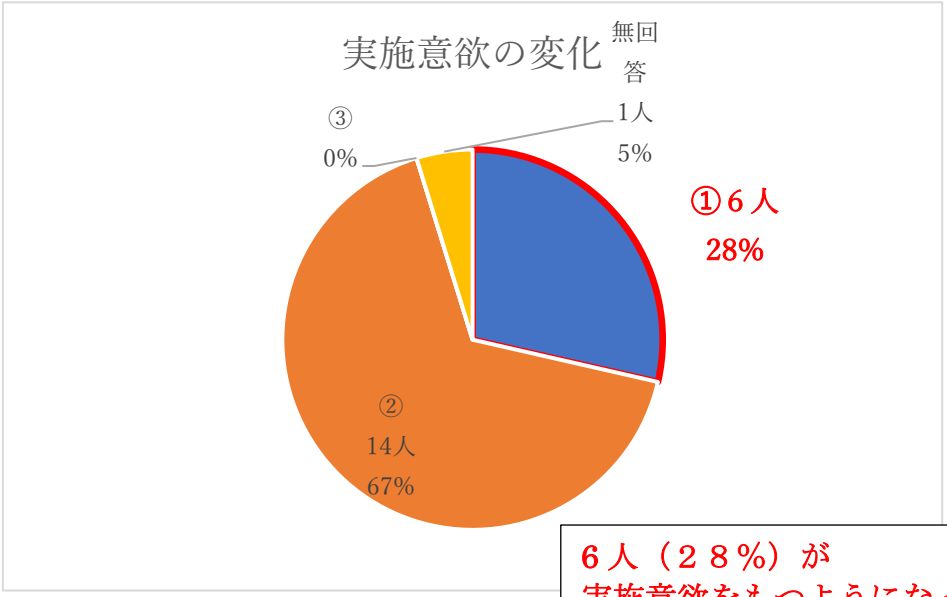
回答
①運動・スポーツをする時間増やしたいと思う
②変わらない
③運動・スポーツをする時間を増やしたいと思わない

企画イベント２

男子	*5* 人が回答
①	3
②	2
③	0

女子	*16* 人が回答
①	3
②	12
③	0
無回答	1

男女合算	*21* 人が回答
①	6
②	14
③	0
無回答	1

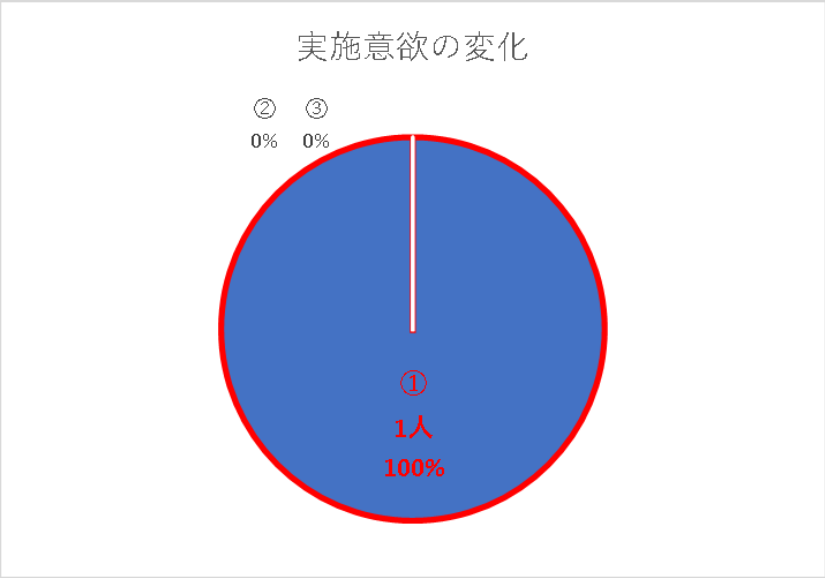


６人（２８％）が
実施意欲をもつようになった！

企画イベント３

男子	*1* 人が回答
①	1
②	0
③	0

※女子は０人なので男女合算も同じ表



１人（１００％）が
実施意欲をもつようになった！

企画イベント２は、②（変わらない）と回答した子が多かった。６人（２８％）が実施意欲をもつようになった。

企画イベント３は回答者１人で、①（運動・スポーツをする時間を増やしたいと思う）と回答した。

Q-6 このイベント企画をどのようにして知りましたか？（オリジナル追加 Q）
（例　Sgrum から　友人からの紹介　ホームページをみて　施設にあったチラシをみて

企画イベント２

サンクチュアリ所属の家族	5
サンクチュアリ会員兄弟	8
友人の紹介	18
サンクチュアリ所属	32
元サンクチュアリ所属	1

企画イベント３

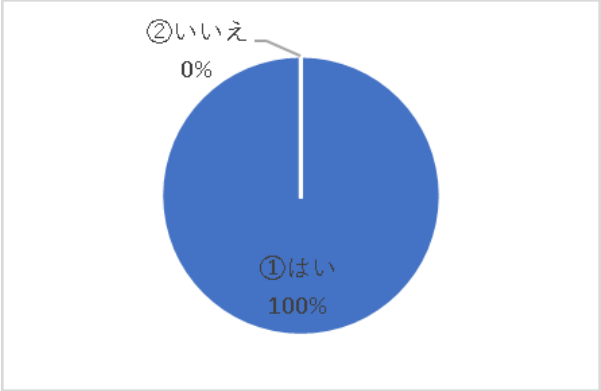
コーチに教えてもらった	3
福原スポーツクラブからスマホにメールがきて	1
ふくはらスポーツクラブにはいっていて	2
サンクチュアリより紹介	1
友人からの紹介	2
Sgrumより知りました	2
しらおか	2

企画イベント２はサンクチュアリ所属の子が多く、友人の紹介、兄弟・家族と続く。元サンクチュアリ所属と書いてくれた子も１人いた。やめたクラブのイベントには来辛い可能性が高いが、良い関係性を築くことができているのかもしれない。企画イベント３はふくはらスポーツクラブさんや NPO 法人白岡 Sport-Verein（シュポルト・ファーアイン）さんのご紹介できた子が多かった。

Q-７　また、このような企画イベントがあれば参加したいですか？（オリジナル追加 Q）

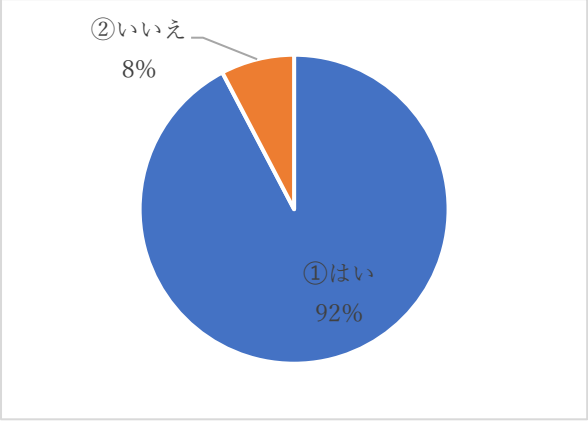
企画イベント２

①はい	63
②いいえ	0



企画イベント３

①はい	12
②いいえ	1



企画イベント２、企画イベント３ともほぼ全員に①はい（また、このような企画イベントがあったら参加したい）と回答していた。一方企画イベント３には②いいえと答えた子がいたという事実も事業改善に役立てていきたい。